



今後の山口県スポーツ医・科学の在り方基本計画【概要版】



I 計画策定の趣旨等

- 国の「地域におけるスポーツ医・科学支援の在り方に関する検討会議」の提言等を受け、**本県のスポーツ医・科学の現状と課題を改めて整理し、今後の本県アスリートの競技力向上や県民の生涯スポーツの推進に向けた今後の方針等を定めるもの**

II 現状と課題

1 アスリートへの各種サポート

- メディカルチェック、フィジカル・フィットネスチェックなど、アスリートに対する健康診断や身体機能等のチェックの実施が必要
- スポーツ栄養・心理の専門家やアスレティックトレーナー等の協力による巡回サポート等の支援対象の拡大が必要
- H P S Cと連携できる測定機器の整備による栄養・メンタル・フィジカルサポートの充実や、デジタルツールの整備等による戦術訓練のサポートが必要
- パラアスリートに対応するための実態把握とパラアスリートが活用できる施設設備の整備が必要 等

2 スポーツ医・科学スタッフの確保・育成

- 専門家を養成できる県内大学と連携した取組や、医・科学サポートに協力可能な人材確保のためのネットワークの構築が必要 等

3 スポーツ医・科学の知見の活用

- 指導者に対する研修会の改善・工夫、ケガ等何でも相談できる窓口の設置、専用サイトの開設、県民向けのスポーツプログラムの展開が必要

4 研究

- スタッフの役割分担明確化による研究事業の業務化が必要

III 今後のめざす姿

- 1 本県のアスリートが安心して競技に取り組めるよう、**メディカルチェック等から得られた客観的評価に基づく適切なサポート**が受けられる
- 2 本県のアスリートが国の**トップアスリートの測定データ等との比較、分析、研究に基づいたサポート**及び**映像・ITサポート**や**パフォーマンス分析、ゲーム分析等を活用したサポート**が受けられる
- 3 **トップアスリート**を始め、**ジュニア、愛好者、一般県民**誰にも役に立つ**研究の実施**や、県内の大学等との**共同研究**などができる
- 4 **スポーツドクター**や**スポーツデンティスト**等の**医療従事者**や**栄養、メンタル、フィジカル**などの**専門家**及び**スポーツ医・科学系**の資格取得を目指す**学生**等が連携して本県のスポーツ医・科学サポートに**協力できるようなネットワーク**がある
- 5 様々な競技や年代別カテゴリーの指導者が集まり、互いの指導理念や方針、トレーニング方法等を共有し、**お互いを高め合うこと**ができる
- 6 子どもたちから一般愛好者までの誰もがスポーツ医・科学の知見に触れ、ケガや不適切な指導等でやめることなく安心してスポーツ活動が楽しめるよう、スポーツ傷害を始めとした**スポーツに関する相談が気軽にできる**
また、**運動プログラムの提供**や**スポーツ・医科学専用サイト**を用いた**情報発信**により、スポーツを始める人が増え、安心して長く楽しめるようになる

■実現することによって

- ケガや不適切な指導による競技離脱がないよう、「予防」の考え方が浸透し、ジュニア期の全ての子どものスポーツ活動の質の向上につながる
- 本県全てのアスリートが、最大のパフォーマンスを発揮し続けることによって、県内から多くのトップアスリートを生み出すことにつながる
- 子どもから大人までのスポーツを楽しんでいる全ての人やこれからスポーツを楽しもうとする人がケガ無く安心して活動できる環境となり、県民全体の体力、健康の維持・向上と更には福祉の向上にもつながる



今後の山口県スポーツ医・科学の在り方基本計画【概要版】



IV 具体的な取組

1 アスリートへの各種サポート

- 巡回サポート拡大等のための協力スタッフの確保
- メディカルチェック、フィジカル・フィットネスチェック実施のための医療機関等との連携や測定器等の整備、測定員の確保等
- H P S C等とのデータと比較し、分析・研究に基づいた指導ができるよう、H P S Cと連携するための測定機器等の導入やデータベース構築等の環境整備、フィジカルトレーニング指導者の確保
- I Tによる動作分析等のサポートのための機器整備や人材確保
- 迅速な競技復帰のための医療連携
- パラアスリートが活用できる施設設備の整備

2 スポーツ医・科学スタッフの確保・育成

- 栄養・メンタル・フィジカル専門スタッフ養成に向け、県内大学と連携し、プログラム作成支援やインターンシップの受入先確保の協力
- 協力可能な人材の発掘・確保のための周知活動やネットワークの構築

3 スポーツ医・科学の知見の活用

- 指導者の資質向上のための制度の改善や工夫による研修会の開催
- 「予防」の浸透をはじめスポーツに関する相談ができる相談窓口の設置
- 普及・啓発のための専用サイトの開設や県民向けプログラムの展開

4 研究

- 研究事業の業務化とサポートと研究の両輪システム作り

V 必要な環境整備

1 拠点の構築

- 具体的な取組を進めるため、データ測定室や研修室、トレーニング室等のスペースを確保し、県内のスポーツ医・科学の中心的な役割を担う新たな拠点施設の整備を行うことが必要

2 関係機関との連携体制の構築

- 具体的な取組を進めるため、スタッフの確保やデータ及び知見の共有、共同での研究等が県全域で実施できるような体制づくりとして、人的・物的・知的資源を持つ関係機関との連携体制の構築が必要

VI 新たな拠点のイメージ

1 求められる立地条件

- 参加者のアクセスを考慮し、拠点の場所は県央部が望ましい
- 体を動かすための十分なスペースの確保等の観点から、屋内・外運動場、プール等のスポーツ施設が立地し、屋外の広いスペースや広い駐車場を有する場所が望ましい

2 求められる拠点施設等の内容

- 測定・研究室、相談室、トレーニング室等の諸室及び測定機器等の設置

3 求められるスタッフ

- センター長、専門スタッフ（栄養、メンタル、フィジカル、分析）、一般スタッフ

VII 今後の検討

1 今後の検討事項

本基本計画実現に向けた具体的な検討を進めることが必要

- 拠点施設・設備の整備内容
- 人員配置
- 拠点の運営方法
- 関係機関との連携内容

参考) アスリートに対するスポーツ医・科学の対象範囲等

アスリートに対するスポーツ医・科学の支援や対象（現状）

ジュニア・シニア選手の出場大会レベル	主な支援機能の範囲											
	健康診断や身体機能等のチェック			専門スタッフ等によるサポート								
	メデイカルチェック	フィジカルチェック	フィットネスチェック	栄養	メンタル	フィジカル（傷害予防）	フィジカル（ストレングス）	映像・IT	動作分析	レース・ゲーム分析	アンチ・ドーピング	迅速な競技復帰のための医療連携
国体上位入賞	×	◎	×	◎	◎	◎	×	△	×	△	○	×
国体入賞	×	○	×	○	○	○	×	△	×	△	○	×
国体出場	×	△	×	△	△	△	×	△	×	△	△	×
全国大会出場	×	△	△	△	△	△	×	△	×	△	△	×
ブロック大会出場	×	△	△	△	△	△	×	△	×	△	△	×
県内大会出場	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
地区大会出場	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
パラアスリート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般愛好者シニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般愛好者ジュニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ ◎：概ね ○：半数 △：一部 ×：なし

アスリートに対するスポーツ医・科学の支援や対象（今後のイメージ）

支援の対象 すべてのシニア・ジュニア同等	主な支援機能の範囲											
	健康診断や身体機能等のチェック			専門スタッフ等によるサポート								
	メデイカルチェック	フィジカルチェック	フィットネスチェック	栄養	メンタル	フィジカル	映像・IT	動作分析	レース・ゲーム分析	アンチ・ドーピング	迅速な競技復帰のための医療連携	
日本代表	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
全国上位入賞	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
全国入賞	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
全国大会出場	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ブロック大会出場	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
県内大会出場	○	○	○	○	○	○	△	△	△	◎	○	○
地区大会出場	○	○	○	○	○	○	△	△	△	◎	○	○
一般愛好者シニア	○	○	○	△	△	△	-	-	-	◎	-	-
一般愛好者ジュニア	○	○	○	△	△	△	-	-	-	◎	-	-

※ ◎：全面对応 ○：部分的対応 △：要相談